

「携帯電話」についてのアンケート

<調査概要>

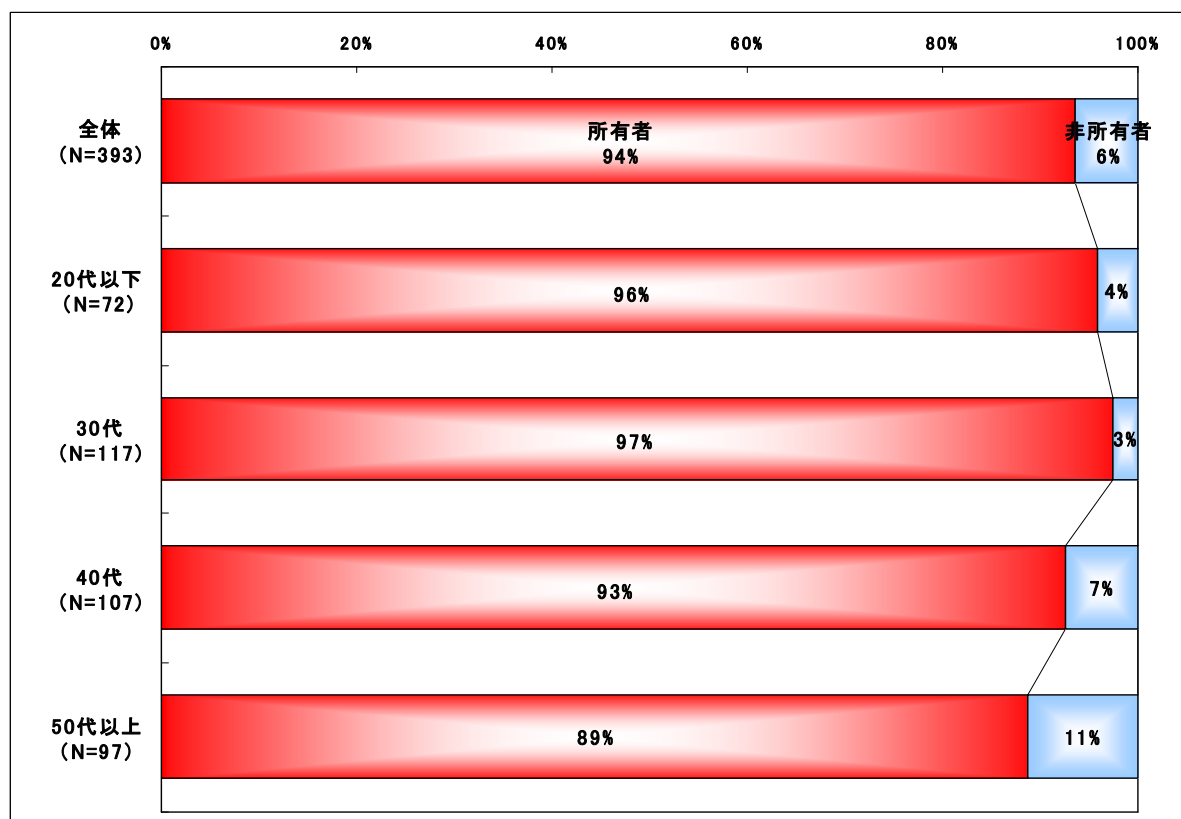
調査方法: インサーチモニターを対象としたインターネット調査
調査対象者: 札幌圏内在住の15歳以上男女
調査実施期間: 2009年2月13日(金)~2月16日(月)
有効回答者数: N=393

全体	393名	100%
男性	183名	47%
女性	210名	53%

実施機関: 株式会社インサイト

<調査結果>

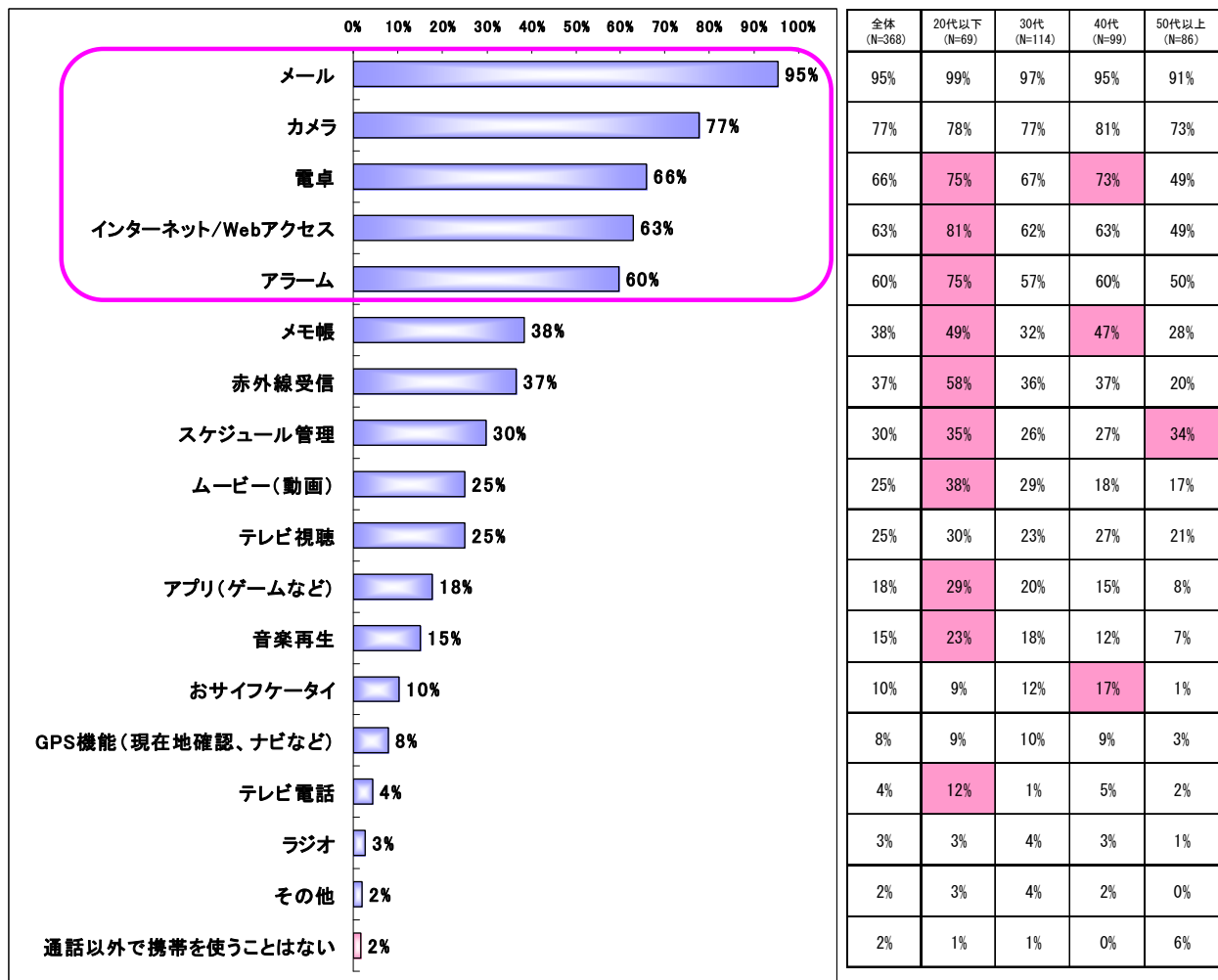
【携帯電話/PHS所有率】



※Base: 全体

【通話以外での携帯電話/PHSの利用内容】

Q:あなたが、普段、通話以外で利用している携帯電話/PHSの内容をすべてお選びください。

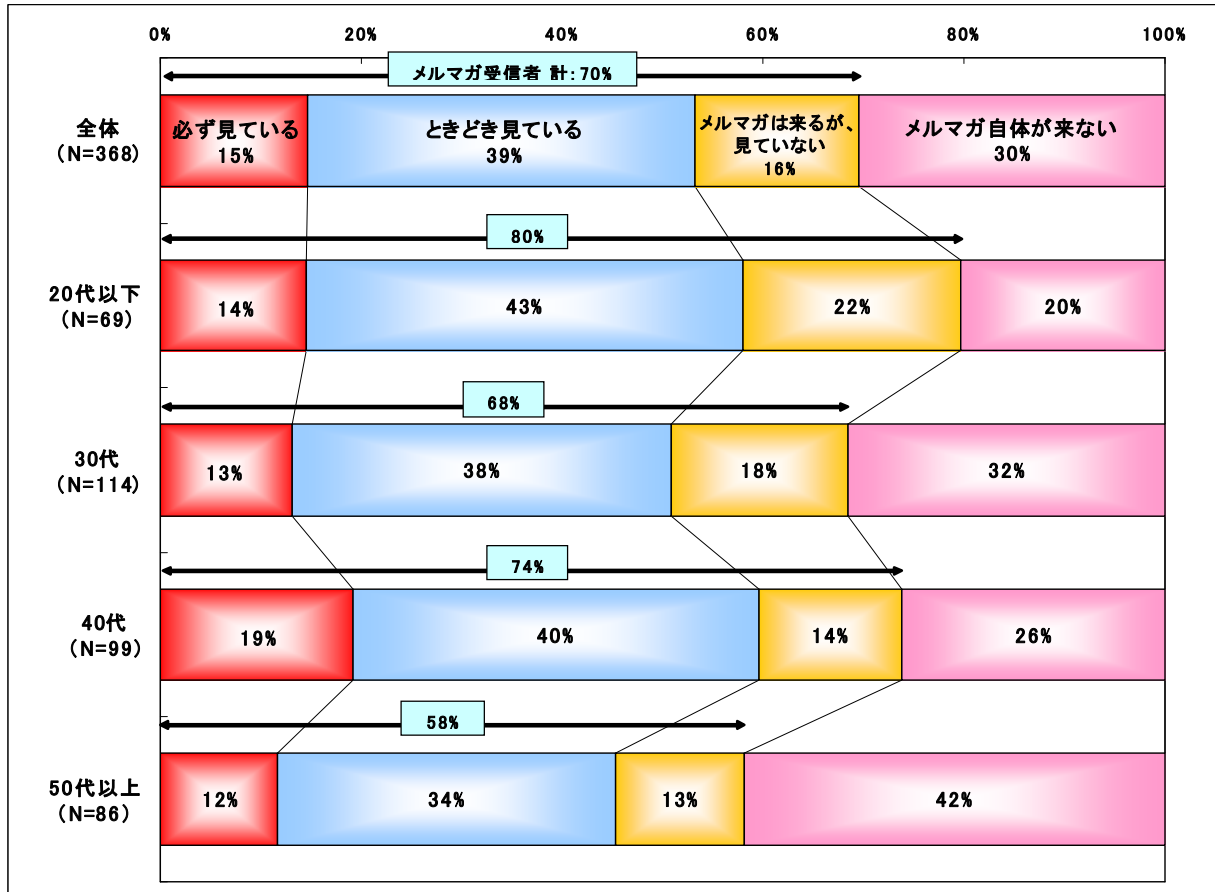


※Base:携帯電話/PHS所有者

- 携帯電話での「メール」利用者は95%を占める。次いで、「カメラ」、「電卓」、「インターネット/Webアクセス」、「アラーム」が続く。
- 年代別では、全般的に20代以下が他の年代に比べ、様々な内容で携帯電話を利用している。また、40代も「電卓」、「メモ帳」、「おサイフケータイ」などの利用率が30代、50代以上より特に高い。中でも、「おサイフケータイ」は他の年代に比べ最も高く、利用者は2割近くを占める。

【携帯電話/PHSでのメルマガ受信実態】

Q:あなたは、現在、携帯電話/PHSに届くメールマガジン(メルマガ)をご覧になりますか。

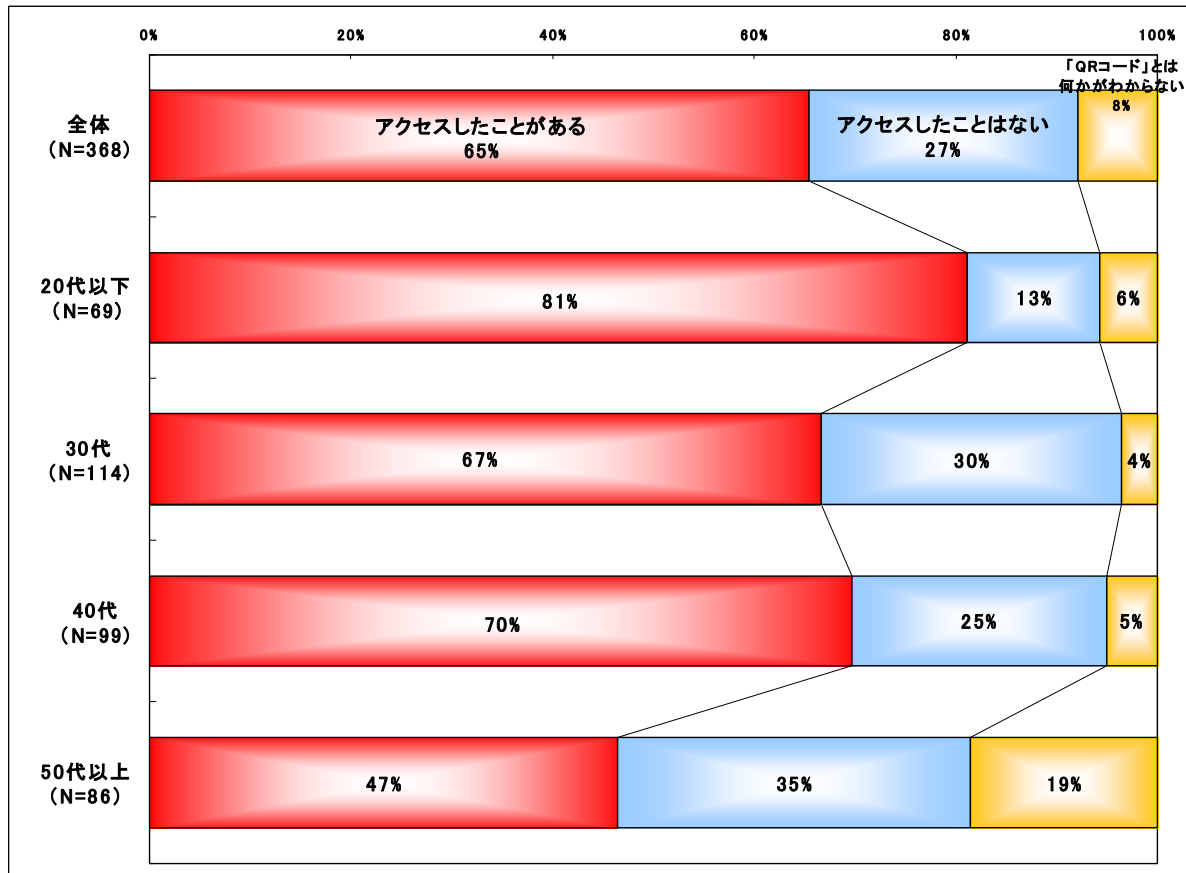


※Base:携帯電話/PHS所有者

- 携帯電話でのメルマガ受信者は7割を占め、うち、15%は「必ず」メルマガをチェックしている。
年代別では、20代以下、40代での受信率が高く、特に40代では「必ず」チェックする割合も2割近くを占める。

【QRコード】へのアクセス経験

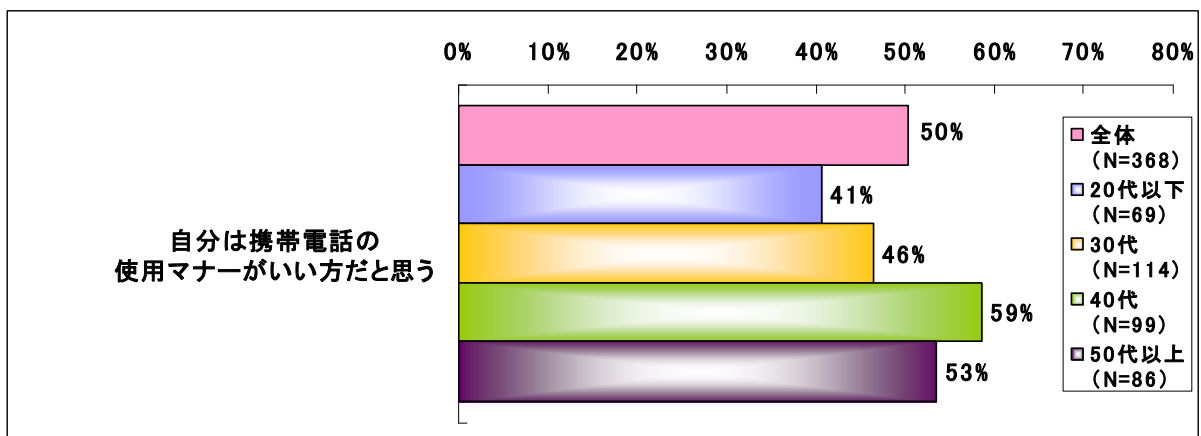
Q: あなたは今までに「QRコード」にアクセスしたことがありますか。



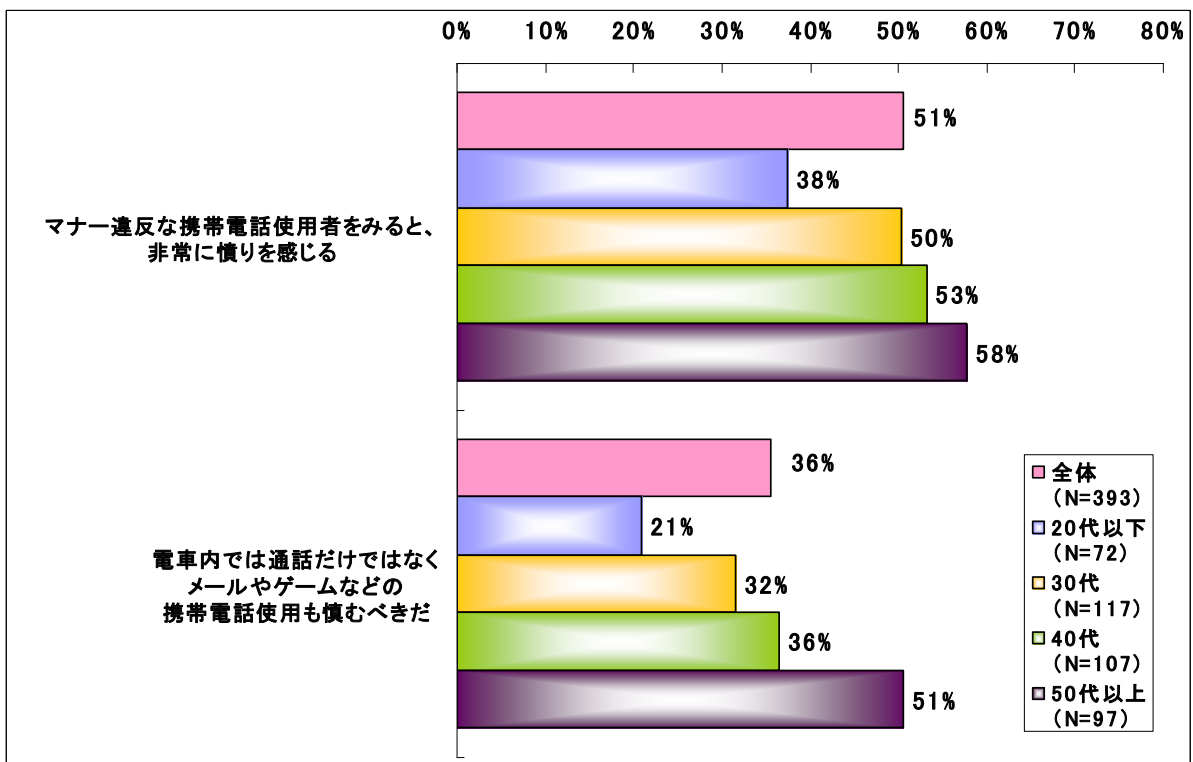
※Base: 携帯電話/PHS所有者

- 携帯電話所有者の6割強が「QRコード」へのアクセス経験がある。
年代別では、20代以下でのアクセス率が8割強を占める一方、50代以上では半数未満にとどまる。

【「携帯電話の使用マナー」についての意識】



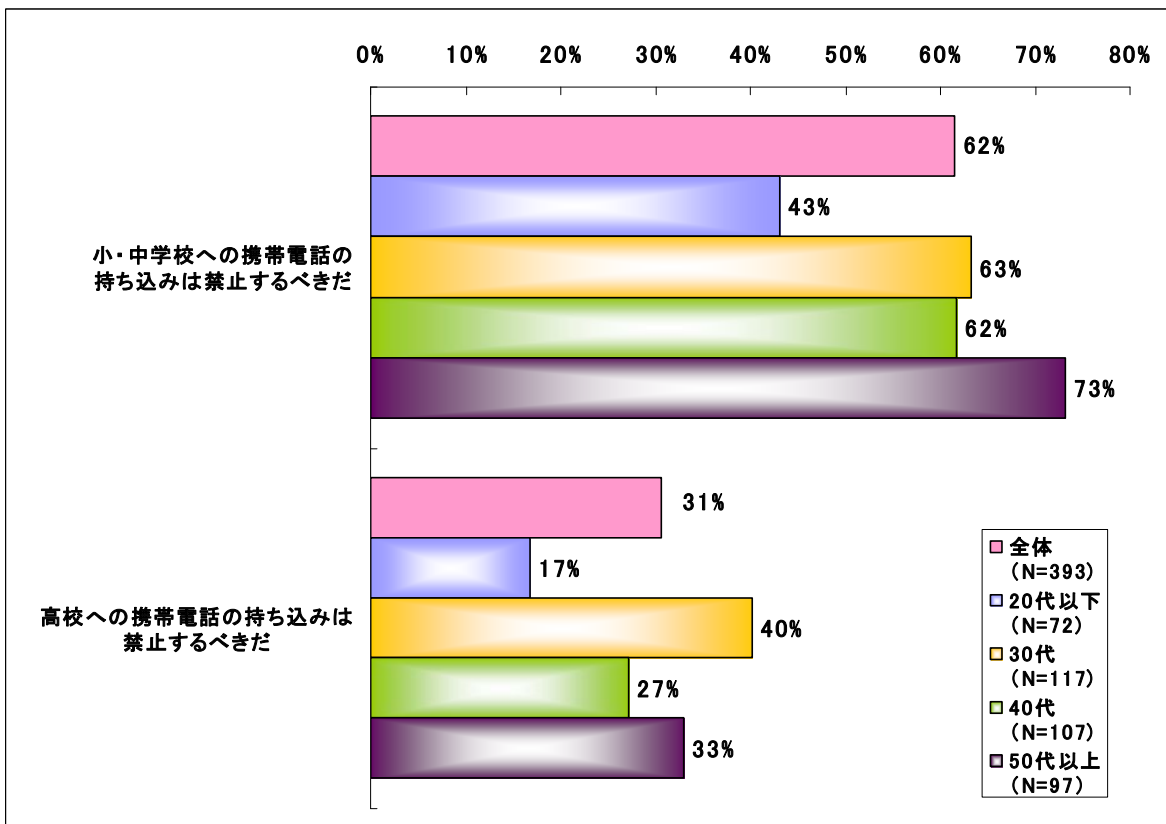
※Base: 携帯電話/PHS所有者



※Base: 全体

➤ 携帯所有者の半数は、自分は携帯電話のマナーがよいと感じている。
 また、全体の約半数が携帯電話のマナー違反使用者に強い憤りを感じている。
 ただし、年代別では、20代以下の若年層ほど、携帯電話のマナーに対する意識が低い傾向がみうけられ、自身の使用マナーがよいと感じている割合も4割にとどまる。

【「学校への携帯電話の持ち込み」についての意識】



※Base:全体

➤ 小・中学校への携帯電話の持ち込みについては、全体の6割が「禁止すべき」と感じている一方、高校への携帯電話の持ち込み禁止を望む声は3割程度にとどまる。
年代別では、20代以下が他の年代に比べ、学校への携帯電話の持ち込みに対する規制意識が低い傾向がうかがえる。

※本ページに掲載されている調査結果は、出典先を「マーケティングリサーチシステム インサーチ」と明記の上、自由にご利用ください。

＜その他のお問い合わせ先＞
株式会社 インサイト インサーチ事務局
e-mail : info@insearch.jp